

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔生物生産学部（生物生産学科）〕

プログラムの名称	(和文) 水産生物科学副専攻プログラム
	(英文) Biological Science of Fisheries
<p>1. プログラムの紹介と概要</p> <p>水産生物科学副専攻プログラムでは、水産生物を含む水生無脊椎動物と魚類の生理、病理、生化学、分子、生態、行動、資源についての基本的知識と研究手法、水産生物の増養殖の技術と、これらを取りまく諸問題についての基本的知識、およびこれらの分野の国際的な課題を見渡すことのできる広い視野を身につけます。また、海洋生物資源の生産や研究の現場で遭遇するであろう諸問題の解決策を、自ら調べ計画立案実行し、収集した資料を解析して取りまとめ、文書および口頭で発表・討論できる力を養います。</p>	
<p>2. プログラムの到達目標</p> <p>水産資源の増殖を図り、利用するうえで必要な資源学、生理学、増殖学、病理学、生化学およびフィールド科学の基本的な知識と研究方法を体系的に理解することを目的とします。</p>	
<p>3. プログラムの履修時期・要件</p> <p>(1) 履修開始時期とプログラム登録時期</p> <p>プログラムの履修開始時期は3セメスターからです。また、プログラムの登録は、履修開始前（事前登録）とします。</p> <p>(2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)</p> <p>本プログラムは、本学のすべての学生に開かれています。本プログラム選択のための既修得要件はありません。</p> <p>(3) 履修上の注意点</p> <p>水産生物を含む水生無脊椎動物と魚類の生理、病理、生化学、資源、生態、行動について興味を持っていることが必要条件です。</p>	
<p>4. 教育内容・構造</p> <ul style="list-style-type: none"> 本プログラムは「水圏資源生物学」「水族生理学」「水産増殖学」「水族生態学」「水族病理学」「水族生化学」「竹原ステーション（水産実験所）」の7つの教育科目（研究室）に属する教員が担当します。 教養教育科目1科目、専門基礎科目1科目を履修し、基礎知識を養った後、専門科目で専門的知識や応用力を養います。 	
<p>5. 授業科目及び授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業科目および授業内容については、別添の履修表ならびに各年度に公開される主専攻プログラムのシラバスを参照すること。 	

6. 評価

(1) 試験・成績評価

各授業科目における試験・成績評価基準に準ずる。

(2) 修了判定の基準

指定する16単位を修得すること。

7. プログラムの責任体制

水産生物科学副専攻プログラム担当教員会

8. プログラムの受入上限数

10人

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

8単位

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

8単位

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

水産生物科学副専攻プログラム履修表

区分	授業科目	単位数	履修期	要修得単位数
教養教育科目	生命・食・環境のサイエンス	2	3	2
専門基礎科目	動物生産サイエンス入門	2	3	2
専門科目	水産資源学	2	4	このうちから12単位以上
	水族生理学	2	4	
	水産増殖学	2	5	
	水族病理学	2	4	
	水産動物生態学	2	4	
	水族生化学	2	4	
	海洋無脊椎動物学	2	4	
合 計				16